

全般的な注意点

1. 全般的な注意点

①本システムの利用前提条件

- ・ 00：00～06：00 はWeb 機能サービス停止時間帯のため利用不可となります。
- ・ ご利用できるブラウザは、下記の通りです。
Microsoft Edge, Google Chrome, Apple safari
- ※PC とスマホ・タブレットでは画面の見え方が異なります。

②出席情報を収集できない科目について

- ・ 実験/実習（一部の科目は除く）、野外、体育館で行われる授業、卒業研究などの科目で、出席情報を収集できない科目の出席状況は「ハイフン（-）」で表示しています。出席状況は各担当教員が把握しています。
- ・ 上記科目にも、出席データが表示されている場合があります。これらは教員が直接入力したものです。

③自身の出席状況について

- ・ 当日の出席状況については、授業終了時もしくは当日中に出席状況が正しく反映されているかの確認を行ってください。 ※リアルタイムに出席情報システムには反映されません。

例 1) 授業開始時に出席情報の送信を行った場合

→授業開始 21 分以降に確認できます。（出席判定が授業開始 20 分後に行われるため）

例 2) 授業開始 21 分以降に出席情報の送信を行った場合

→出席情報の送信後 10 分以降に確認できます。

注) 授業中にスマートフォン等の使用を認めていない授業もあります。スマホなどを使用する際は授業担当教員の許可を得るなど、注意してください。

- ・ 前日までの出席状況を科目ごとで確認する場合は、教務システム（履修・シラバス）より確認してください。
- ・ 本システムの出席判定は、あくまでもシステム上の判定であり、出席・遅刻・欠席の判断基準は授業担当教員によって異なることがあります。また、出席情報の送信とは別に、口頭にて確認、課題提出などにより出席確認が行われる授業があります。

例 1) 授業開始時に着席していないと「欠席」と判断される場合

例 2) 授業開始 10 分以降は「欠席」と判断される場合

例 3) 出席情報の送信と毎授業の小テストで「出席」とする場合 など

上記の例 1～3 のように、システム上「出席」と判定されている場合でも、科目によっては出席情報の取り扱いが異なることがあります。

④システム上「欠席」判定になる場合について

- ・ 出席情報の送信を忘れた場合
- ・ 出席判定時間以降（授業開始 31 分～）に送信を行った場合
- ・ 間違えた教室で送信を行った場合

⑤出席情報の修正について

- ・ アプリの障害、教室を間違えての送信により出席状況が反映されていなかった場合は、教務課の出席情報システム担当者までお問い合わせください。
- ・ スマートフォン忘れ、出席情報の送信忘れ等、その他の理由では原則教務課や教員で出席状況の修正は行わないこととしています。ただし、授業担当教員から別途指示があった場合は、その指示に従ってください。また、スマートフォンの修理中等で出席情報の送信ができない場合は、授業担当教員に相談してください。
- ・ アプリの不具合や誤送信の情報が確認できない限り、原則教務課では出席状況の修正ができないため、**虚偽の申し出はしないでください。**

⑥未履修の出席について

履修確定前に間違えた教室で出席情報の送信を行った場合、その教室で授業が開講されていると「未履修の出席」と表示されます。授業が開講されていない場合は「未履修の出席」にはなりません。履修確定日以降に教室間違えて送信した場合は表示されませんが、履修確定前の情報は表示されます。

⑦その他

- ・ 履修修正を行った情報は、翌日にシステムに反映されます。
- ・ 定期試験期間中の試験時間割は、通常の授業時間と異なるため出席情報の送信を行う必要はありません。ただし、定期試験期間中に補講がある場合は、通常通り出席情報の送信を行ってください。
- ・ 本システムと Web Class は連携されていません。
- ・ 出席情報の送信のみ行い、授業に出席しない等の行為は行わないでください。
- ・ 同一授業で複数回の送信はしないでください。（通信状況等の不具合で送信できなかった場合は除く）